

3年 進路だより

No. 11 新東淀中学校 2017.10. 31

10月20日には第3回実力テストがありました。結果はどうだったでしょうか？そして2学期も残り2か月を切りました。11月と12月はみんなの中学校卒業後の進路を決める重要な期間です。進学にかかるこれからの大な予定は次の通りです。

11月 6日～10日 第1回進路懇談会

11月13日 第4回実力テスト 20～22日 2学期期末テスト

12月 14日～20日 第2回進路懇談会

12月26～1月5日 私学願書取得

1月9日～11日 私学進路相談（中学校と高校の先生の間の相談会）

1月10日～11日 第5回実力テスト 23～25日 3年学年末テスト

1月25日 私学一斉出願

2月10、11日 私学入試 2月13～15日 私学合格発表

2月20～21日 公立特別入試 2月28日 公立特別入試 合格発表

3月12日 公立一般入試 3月20日 公立一般入試 合格発表

11月・12月進路懇談で 受験する私立高校を決定します

私立高校の入試は2月10日ですが、11月と12月の進路懇談で受験する私立高校を決定しなければなりません。12月の進路懇談が終わるとすぐ冬休みです。その間に私立高校を受験する人は高校に行って願書をもらってくること（願書取得）が必要です。そして、1月9日の始業式の日から、校長先生や進路担当、3年の先生はみんなが受験する私立高校に行って、合格の可能性を聞いてきます。「私学進路相談」です。

もちろんこの相談は予想で、合否は個人報告書と当日の学力検査、面接で決まります。高等学校等もこの相談で入学してくれる生徒の数を予想しますので、「合格の可能性が高い」と判断された場合は、その後は他の高校等には相談しません。

10月28日の進路説明会でも保護者のみなさんにお話ししましたが、高校などに示す個人情報は次の通りです。①名前、②2学期の評定（通知表の点）、③第3回、第4回の実力テストと2学期末テストの5教科の得点、④英検、漢検、数検などの資格、⑤生徒会、委員会活動の様子、⑥部活動に熱心に取り組んでいる場合はその様子と成績、⑦家族や親せきにその学校の卒業生や在校生がいらっしゃる場合はその方の名前と年次。

ご了承ください。

私立受験の専願か？ 併願（私立と公立の両方受験）か？ 公立高校受験の単願か？

私立高校の専願受験は、合格すれば必ずその私学に入学しなければなりませんので、通常は入試の合格点が併願と比べると低くなり、合格しやすくなります。私立高校を第一志望にする時は専願受験にします。合格した場合、公立高校は受験できません。

私立高校の併願受験は、第一志望が公立高校の場合の「すべり止め」として受験します。よく「すべり止め」だからと言って私立の併願校をいい加減に決める人がいます。しかし万一公立高校が不合格になると、3年間その私立高校に通わねばなりません。私立高校の先生の話では「併願で入学してきた生徒の中に、成績が優秀なのに『学校に合わない』と言って7月までに退学する生徒が毎年いる」ということです。併願校も必ず体験入学等に参加し、「3年間がんばれる」と確信できる学校を選びましょう。



公立高校の入試は一昨年から2月の特別入試と3月の一般入試となりました。特別入試を行うのは面接か実技の試験を実施する学校だけで、多くの高校は一般入試となりました。以前のように「公立高校を2回受ける機会がある」という人はかなり少なくなっています。

特に公立高校だけを受験する（単願受験と言います）場合は不合格となった際の「すべり止め」がないので慎重に志望校を選ばなければなりません。

学習塾ではぎりぎりで合格できる学校に進学を勧める傾向にあります。しかし、高校ではそのクラスの中くらいの学力の生徒を対象に授業を進められることが多く、また成績が周りに比べて低いと、モチベーションが下がってしまう生徒が多いようです。従って合格の可能性については、過去のデータからその高校・コースで中くらい以上の成績が維持できることを一つの目安として、お話しさせていただきます。